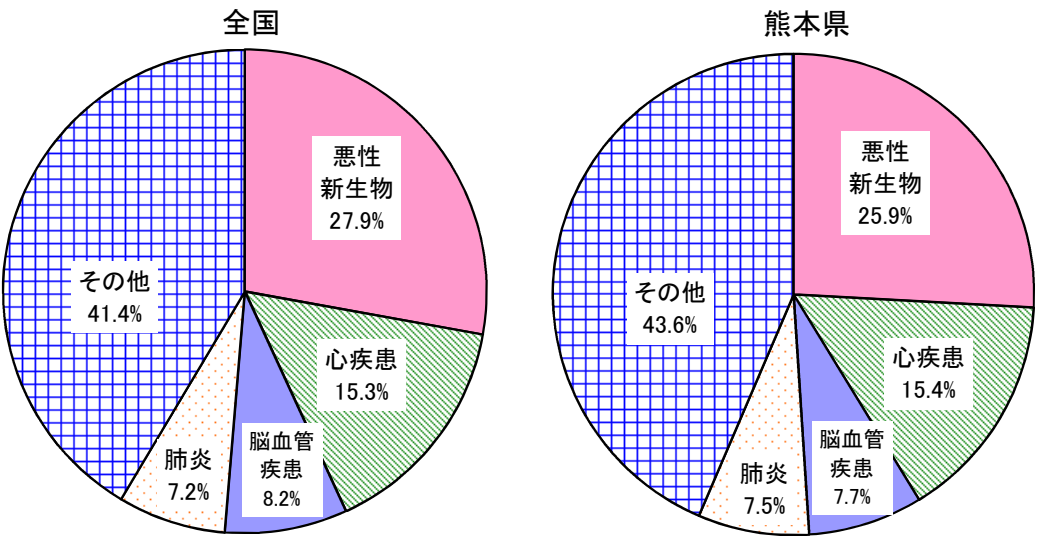


死因別死亡者数構成比（平成29年）



解 説

【概要】

平成29年の県内死亡者は21,588人であった。死因別に内訳をみると、もっとも多いのが悪性新生物の5,585人、次いで心疾患の3,322人、脳血管疾患の1,663人、肺炎の1,613人と続き、以上4つの死因で全体の56.4%を占めている。

- 死亡者数
1月から12月の1年間に届けられた死亡者数。
- 悪性新生物
一般にガンと呼ばれている病気のこと。
- 心疾患
心不全、急性心筋梗塞、高血圧性心疾患などをいうが、ここでは高血圧性心疾患は含めていない。
- 脳血管疾患
脳出血、脳梗塞などが含まれる。

資 料 出 所	調 査 期 日	調査周期
「人口動態調査」 厚生労働省	平成29年	毎年